

## 岡山大学保健環境センター公開講演会（2006年）の報告

### はじめに

平成 18 年度の環境月間の公開講演会は「地球温暖化問題をめぐる最新の研究動向とリスク対策」をテーマとして 6 月 19 日の午後に岡山大学創立 50 周年記念館で開催されました。講演会は地球温暖化問題の研究の第一線で、また気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第 3 次報告書、第 4 次報告書（2007 年公表）の作成で国際的に活躍されているお二方：気象研究所気候研究部長 野田 彰先生，国立環境研究所環境計画研究室室長 原沢英夫先生を招待して，下記のプログラムで行われました。（講演会については 22～25 ページにも記載があります）

#### 「プログラム」

- ①（14:30～14:45） 「ご挨拶」岡山大学保健環境センター副センター長 山本 晋
- ②（14:45～15:45） 「地球温暖化のメカニズムと気候モデルによる将来予測」  
気象研究所 気候研究部長 野田 彰 先生
- ③（16:00～17:00） 「地球温暖化の自然環境・人間社会への影響とリスク対策」  
国立環境研究所 環境計画研究室室長 原沢 英夫 先生

講演会には一般の方，関係者を含めて 135 名（うち学外 75 名）のご参加を戴き，また講演の後，開催内容，講演会の情報入手などについてアンケートを実施いたしました（結果は 25 ページに記載）。今後の講演会のテーマの選択，内容の改善・充実に活用させていただきます。

以下に，両先生に執筆していただいた「講演要旨」とご講演のスライドの一部を使用させていただき，ご講演の内容を報告いたします。（山本 晋）